

杉田 由加里

千葉大学大学院 看護学研究科 博士後期課程 1年

## 介護予防ケアマネジメントのプロセスにおける指標に関する研究

虚弱高齢者を対象とした介護予防ケアマネジメントの実践におけるケアマネジメントプロセスの指標を明らかにするために、保健師や介護支援専門員計 11 名へ面接調査を行った。

アセスメントに関して、利用者と一緒に課題を分析していく姿勢や自分の生活を振り返ってもらうような過去の生活や今現在の生活状況への問いかけ、楽しみにしていることや好きなことを捉えることが重要であると認識していた。ケアプランを自分のものと捉えてもらえるように利用者が使った言葉を使い、家族やキーパーソンへも確認を取り、普段の生活が見え評価できるような具体的なケアプランを心がけていた。モニタリングとして、月に 1 回訪問するなどして積極的にサービス事業者、利用者双方から情報を把握していた。

要支援という状態像について理解を深められる関わり、アセスメントを利用者と一緒に行う中でなりたい自分を見つけられるような関わりが重要であることが明らかになった。